

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 病理学教室

記

研究の名称	進行大腸癌の転移における代謝関連因子発現の病理学的検討
対象	2013 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までの期間に本院で外科的切除を受けた大腸癌患者さんの既存の染色標本およびパラフィンプロック、診療情報を研究に利用いたします。本学では、98 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 8 月 19 日） ～ 2030 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：癌組織における代謝現象に注目が集まっており、最近ではそれらの代謝変化をターゲットとした新たな癌治療も研究されています。私たちは、大腸癌先進部における代謝現象が、腫瘍中心部のそれと異なることを、病理組織学的に示し発表しました（Mizuno Y, et al. Oncol Lett, 2020）。腫瘍先進部には、転移および予後予測マーカーとして日常の病理診断でも評価されている変化（^{ぞくしゅつ}簇出といいます）が含まれます。簇出は癌転移の初期変化と言われ、古典的な転移マーカーである脈管侵襲とも深く関連しています。簇出の延長線上に転移があるのなら、それらの部位・環境の違いによる代謝変化を探索することは、大腸癌予防・治療の観点から意義深いと考えられます。そこで私たちは、進行大腸癌における転移途上および転移先における代謝現象を、腫瘍先進部と比較解析することを目的として、本研究を行います

	す。 利用方法：患者さんの既存の染色標本およびパラフィンプロックを用います。パラフィンプロックから新たに薄切を行い、代謝関連因子の免疫染色を実施します。また、患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2025 年 8 月 19 日）
利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：病理診断に用いた既存の染色標本およびパラフィンプロック 情報：検査データ、診療記録等
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。
研究者名	
【研究責任（代表）者】	
大阪医科薬科大学 病理学 教授 廣瀬 善信	
参加拒否の申し出について	
ご自身の試料（保管染色標本、パラフィンプロック等）や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対	

象者の代理人からの申し出も受付いたします)。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 病理学教室

担当者 廣瀬 善信

連絡先 072-683-1221 (代) 内線 2635

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 廣瀬 善信 殿

研究の名称	進行大腸癌の転移における代謝関連因子発現の病理学的検討
-------	-----------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）